

No	受託研究名	期間	委託機関	概要 ※200-250字を目安としてください	学生関与(人数)	単位認定
1	京都文化クラウドファンディングプロジェクト	2019.4~2020.3	株式会社Tomorrow Factory	古い文化、歴史を大切にしながら新しい「価値」を織々と世に問い続けてきた、それが京都という街。本プロジェクトでは、そんな京都で学ぶ京大生が新しいアイデアの商品化にチャレンジする提案型プロジェクト。 しかし、商品化には多大な資金や企業との支援が必要である。ところが、現代ではクラウドファンディングを通して魅力を伝え、幅広く支援を集める方法がある。さらに高島屋京都店の全面的な協力のもと、第一線のバイヤーによるコメントとサポートをいただきながら本当に支持される商品づくりを目指す。またクライアント側には新しくできた「future」というクラウドファンディングサイトを周知する事も目的とする。	11名	有
2	京焼 目利きプロジェクト	2019.4~2020.3	東山区役所	京焼きは、歴史と技術がある世界に誇る京都の文化であり、消費者のニーズに合わせて価格やクオリティ、製法など多様なバリエーションを有する。しかし、京焼き以外の陶器器と接触した時に消費者に具体的に良さが伝えられておらず、特長や違いなどを消費者が知らずに、京焼の価格設定でのみ価値を測っている現状がある。そこで、学生達が京焼、食文化などをリサーチし、京焼を専らしんで「目利き」になってもらうために、イベントやパンフレット等で情報発信を行った。実際に、地元や販売店を合計24軒を取材しネットワーク作りや情報収集を行った。 また、イベントの企画運営やパンフレット等の媒体制作も学生主体で行った。	14名	有
3	ミス・パールプロジェクト	2019.4~2020.3	株式会社カムデン	真珠の価値を若い世代に伝えることを目的とした本プロジェクトも6月目を迎えた。恒例のミス・パールコンテストも継続。とくに学生主体のプロジェクトチームで学園祭に向けた企画・運営を行い、成功に導いた。京都高島屋でのパール商品の開発や学生デザインの作品の販促を行う予定であった。高島屋での販売イベントは新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。継続して次年度につなげていきたい。	13名	有
4	粟田大徳呂プロジェクト	2019.4~2019.10	粟田大徳呂実行委員会	京都粟田にある粟田神社、天保3年以前に造られたといわれる粟田神社の「夜置り神事」を、180年ぶりにアートで復活させ今回は11年目となった。単なる制作だけでなく、神社や周辺地域の歴史・伝承等を調査、京都の歴史・芸術・文化を掘り下げ、そこから見えてくる日本人の感性を捉えなおし、モノづくりとはどういふ事なのかを考察した。京都の、日本のりを再発見し、モノづくりにおける「モノがたり」が如何に必要であるかを体験、より一歩進んだグループワークを実施した。	14名	有
5	フコクアトリウム空間プロジェクト	2019.4~2019.12	富国生命ビル(三菱地所)	大阪駅前にある大阪富国生命ビルの地下1階アトリウム「フコク生命の森」の空間演出プロジェクト。夏の巨大壁画ではアボリジニーアートから着想を得た作品「進化の過程」を公開制作、ワークショップも開催し、多くの方に参加いただいた。冬は一番のシーズンフェスティバルに合わせ、クリスマスに贈られる巨大なポップアップカード作品「White girl」を制作。	23名	有
6	ホスピタルアートHP11プロジェクト	2019.10~2019.12	京都大学医学部附属病院	京都大学医学部附属病院の中の病棟新設にあたり、総合がん診療センターが新病棟で開設し、NICU/GICの廊下面会室と面談室なども含む処置室内の施工を依頼された。アート・デザイン力で環境改善を行う本プロジェクトは、面会に来られる新生児のご家族はもちろん、日々治療に専念されている医療従事者の方々のストレスを少しでも軽減してもらえよう、メンバーの現地視察や医師・看護婦からのヒアリングを経て、何度もミーティングを重ねながら、「思いももつ、つながるアート」をテーマにNICU/GICを森に見立て、動物の親子や植物を「ひとと繋がる森」で描いた。NICUのロゴマークも新たに作成した。	50名	有
7	南産看板の意匠制作	2019.4~2019.12	松竹株式会社(南産)	南産は数種体発祥とされる四條河原町にある400年の伝統を持つ京都でも由緒ある製菓である。その南産で2019年新年に行われる2つの公演のための一文字看板を描くプロジェクト。耐震補修工事を甚だ南産が新しくなり、再開編して初めてのお正月の記念すべき新春公演である。プロの看板制作者でもなかなか味わえないような経験となり、お正月のこの地域は八坂神社への初詣のお客様もあり大変賑わいあり、学生が制作した看板を多くの人にみてもらえる機会にもなった。	26名	有
8	平和祈念展示資料	2019.4~2019.9	平和祈念展示資料館(総務省委託)	平和祈念資料館の所蔵物を学生や一般の方に見ていただくための展示プロジェクト。 資料館の所蔵物に興味を持ち、過去に起きた「物証」「引き継ぎ」「兵士」について向き合うための展示の提案と実施を行った。	14名	無
9	八代目儀兵衛デザインプロジェクト	2019.4~2020.3	株式会社八代目儀兵衛	お米を送る「ギフト」の提案。 親から子へ、子から親へ、のギフトの提案とパッケージデザイン及びプロモーションを行う。 新学期日内で前期火曜日と後期火曜日の通年授業。 前期はお米についてのリサーチとパッケージデザイン。後期は引き継ぎパッケージデザインとプロモーション。 2020年4月現在新ギフトとして予約販売中。	12名	有
10	イオンモールプロジェクト	2019.4~2020.1	株式会社モダンバラダイス	イオンモール京都1階のイベントホールに於いて、10月19日、20日に東山区の京焼をPRするイベントを実施運営を行った。 ・京焼のバリエーション 京焼の形の巨大なパルーンを制作し、参加者に器で割付けをおこなう無料ワークショップ ・ワークショップ制作/器スタンプ/器をスタンプにして学生がオリジナルの割付けを作るワークショップ(有料:500円) ・ロボ体験:東山区の京焼職人さまの指導でロボ体験を行う。完成品のロボロイド写真をプレゼント(有料:500円) ロボ体験:岡山朝陽所(岡山県大井、北野久美子氏)、赤穂製菓(京内寺崎氏)、蒲田工房(福岡市之民) ・京焼が解る展示:京焼の歴史や器の種類、柄などや盛り皿についてマンガなどで解りやすく解説 ・東山区のトリアビをTシャツに印刷して展示 ・東山区の写真やフォトカードに印刷して頒布	20名	無
11	真鍮寸会	2019.4~2019.9	西部 真鍮寸会	毎年10月第3日曜日に行われる「城商祭」で神輿を祭典、その際に着用される法被に記される「紋」をデザイン。 現地のリサーチと歴史背景から、今後受け継がれていく「紋」をデザインした。	3名	無

12	フクダ	2019.4~2019.6	株式会社フクダ	主力サービスを踏まえたロボの提案2種類を行い用途に応じて2種類とも採用された。	2名	無
13	日本橋高島屋東京ねぶた制作	2019.2~2019.5	株式会社高島屋	5月8日(水)~5月13日(月)京都物産出品協会 創立70周年記念として日本橋高島屋本館で開催された「次代につなぐ京の地と技展~京の源流~」の展覧会の売上を「舞妓「東西南北の守り神“四神”(立派・青龍・朱雀・白虎)」「燈籠」をモチーフに「白ねぶた」を制作し設置、展示を行った。学科・学年を超え有志が集まったメンバーでプレゼンテーションから制作、現地での搬入までを行った。	23名	無
14	学園祭お化け屋敷プロジェクト	2019.4~2019.9	著山会	学園祭の大人気企画である「京遊見世物小屋(お化け屋敷)」の企画、制作、運営ができるプロジェクト。京都の地で「人はなぜ怖いものに惹かれるのか」「本当の恐怖とは何か」をフィールドワークやグループワークで学び、企画の「軸」となるストーリーを作ることから始めた。著山会から補助金を受け、チラシ制作や中継動画を撮影・編集する広報チーム、世界観や設定を考案する脚本チーム、衣装・メイク担当、小道具・仕掛け作り担当、音・光の演出担当等に分割して準備し本番はキャスト等も全員で取り組んだ。	47名	有
15	京遊イノベーションプロジェクト	2019.10~2019.12	著山会	京都造形芸術大学の人間入り口になる人間離れの柱や大階段付近を打りによってアートな空間に演出し、学生や地域の方々、また自通を行き交う人たちにイノベーションを牽引していただくプロジェクト。2005年から始まり2019年度で14年目を迎えます。チームが丸となって冬の京都芸術大学を色鮮やかに演出します。また、プロジェクトは著山会からの活動補助をいただいております。著山会役員会からの意見も反映したデザインとなった。	27名	有
16	台湾アート交流プロジェクト	2019.11~2020.2	アーバンアート	台湾と日本をアートをもって、現地学生との交流を深めるプロジェクト。毎年、旧正月に向けて行われる新年を祝うイベントにてテーマに沿ったオブジェを現地学生たちとの共同作業によって制作する。国を越えたつながりを人と人のつながりの次元にまで、このアート制作によって育むことを可能し、グローバルな時代だからこそこれらも必要とされるプロジェクトである。	19名	有
17	東山活性化プロジェクト(まか通)	2019.4~2019.12	著山会	東山区に眠る地域資源をアートで再生するプロジェクトである。2019年度は「陶器まつり」「雑遊祭」を前後期のメインイベントとした。前回の陶器まつりでは、陶器部の販売を通じて、陶器や文化の価値を伝える活動を行った。現在している数ヶ所「文書室」の陶器、京都文化の雑遊さんの価値を伝え、また大学生の陶器作品を販売した。後期の、雑遊祭では卒業生であり住民となったOGに企画運営を受け渡すこととした。	13名	有

ウルトラファクトリー

No	受託研究名	期間	委託機関	概要 ※200-250字を目安としてください	学生関与(人数)	単位認定
1	NISSBA共同研究 2019年度契約分	2019.5~2020.1	日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社	印刷業を中心にさまざまな事業を展開している日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社と、同社の持つ高い「布」への昇華転写技術(Fabright)を用いた新たな利用法をリサーチし、プロトタイプ制作を行う共同研究を行った。本件は情報デザイン学科教授の服部淑樹先生より持ち込まれた案件で、服部先生および情報デザイン学科非常勤講師、中家寿之先生が、学生指導にあたった。2018年度実施のフェーズ1で制作したプロトタイプをブラッシュアップし、商品販売を目指しフェーズ2として2年目の取組みとなった。学生たちは随所でクライアントへのプレゼンテーションも経験しながら実践的なデザインワークに取り組みした。2019年12月にNISSBAの社内でプロトタイプ展示を開催し、多くの社員が観覧し、社内評価へとつながった。	4名	無
2	ヤノバケンジWeBaseHirohim 《SHIP'S CAT(Fortune)》制作 ※RF11,RF12と同プロジェクト内	2019.9-10	ヤノバケンジ(株式会社レーサム)	博多、鎌倉、高松など、外国人旅行者に対して日本の文化体験も可能な宿泊施設として展開するWeBaseホテルのシンボルオブジェとして広島県広島市に新たに2019年10月11日にオープンしたWeBaseHirohimに常設展示される《SHIP'S CAT(Fortune)》の制作を行った。	11名	有
3	電通engawa アクリルピンバッジ制作	2019.7	クロステック・マネジメント	2019年7月22日にオープンした電通のスタートアップ支援事業施設engawa kyotoのスタッフが胸に付ける目印となるengawaのロゴ入りピンバッジをウルトラファクトリーの工務機材を利用の上制作するよう依頼があった。工務内の「UVプリンタ」「レーザー加工機」を使用し、クライアントの意向を尋ねながらデザイン調整と制作に取り組み、納品後はオープンコンプレクションから着用了。	—	無
4	電通 ラグビーワールドカップ2019 スピーカー5台制作費	2019.8-9	クロステック・マネジメント	ラグビー杯のスポンサーであるハインケンが銀座・PLISTKYで開催した「ラグビーワールドカップ2019日本大会」開幕戦(日本対ロシア)のバブリックビューイング「聴音ラグビー」イベント会場内に設置するイベントシンボルのラグビーボール型スピーカー5台を製作、納品した。	—	無
5	株式会社イバン 音導犬ハートネスプロトタイプ制作	2019.12	大江孝明先生株式会社セイバン	プロダクトデザイン学科の大江先生により持ち込まれた受託案件。大江先生が株式会社セイバンと取り組む音導犬ハートネスの商品開発のうち、デザインされた物をウルトラファクトリーの金属加工フロアで学生とテクニカルスタッフが数バリエーションを用いて実寸プロトタイプを制作、納品した。	1名	無
6	タイガー電法紙3Dプリンタ出力	2019.11	クロステック・マネジメント(タイガー電法紙株式会社)	2019年8月19日にクロステックマネジメント社主催で開催された新商品開発ワークショップ内で提案されたタイガー電法紙株式会社の製品プロトタイプ制作を担った。3D内で提案されたモデルをもとに企業担当者がパーツ別(ボトル・蓋・哺乳瓶の吸い口を接続するパーツ)2パターン3Dモデルを制作し、ウルトラファクトリー内の3Dプリンターで出力したプロトタイプを納品した。	—	無

7	機スマレジプロトタイプ制作	2019.11	クロステック・マネジメント (株式会社スマレジ)	2019年8月19日にクロステックマネジメント社主催で開催された新商品開発ワークショップ内で起案された株式会社スマレジの製品プロトタイプ制作を担った。同社が提携店に使用を推奨する決済用タブレットのオリジナル製品化を目指し、機電・デザイン設計を学生とともに実施。デザインと3Dモデル作成をプロダクトデザイン学科学生が担当し、ウルトラファクトリー内の3Dプリンターで出力したプロトタイプを納品した。	—	無
8	「KYOTO STEAM-世界文化交際祭-」京都市京セラ美術館におけるGIG展の作品製作及び展示	2019.8-2020.4	公益財団法人 京都高度技術研究所	アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに開催する文化・芸術事業「KYOTO STEAM-世界文化交際祭-」では人材育成事業として、京都市内の3つの芸術系大学を拠点大学に、企業・研究機関の技術や素材を活用したワークショップを2019年から開催。本学は放電皿やフェオダリアなどのフランクtonの研究開発を行う株式会社SeeBankと共同研究を行う仲村康秀 (国立科学博物館) とヤノベケンジ、京府工業技術総合センターと学生・教員協働による展示作品制作を担った。2020年3月の京都府京セラ美術館のリニューアルオープンに併せて展示作品を公開した。作品は、ヤノベケンジ作品《悪い太陽》のドームをフランクtonの骨格に見立て、鑑賞者はその中でヘッドマウントディスプレイを装着することで、飛出するバーチャルリアリティ空間の中で海の中のミクロの世界に潜り込む体験ができるインスタレーション。このVR空間では、株式会社SeeBankと仲村康秀が採取したフランクtonの骨格の3Dデータが用いられており、本学美術工芸学科2年生 大野裕和によりVR演出が制作された。前、展覧会は当初2020年3月21日-3月29日の会期予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のためプレス・関係者向け内覧会の3日間の開催のみとなり、一般公開は中止となったが映像や写真等での記録は十分に完了している。	2名 (1名は展覧会運営サポートスタッフとして)	無
9	やなぎみわモバイルシアタープロジェクト	2019.5-2020.3	プロジェクトディレクター: やなぎみわ	美術作家でありながら、演劇の世界に活動の場を広げるやなぎみわによるプロジェクト。2019年に高松市美術館 (香川県) からスタートした「やなぎみわ展 神話機械」が全国を巡回。学生は、美術館内で展示される作品のパーツ制作や展覧会場にて開催される展覧会場の装飾メンテナンスなどに関わった。そのほか2019年から続くステアードレーパーでの野外劇プロジェクトでは「アート・プロジェクト KORE 2019: TRANS」において神戸市中央卸売市場に海上特設ステージを設け公演を行った。学生はリハーサルや本番公演での補助を担った。 ■展覧「やなぎみわ展 神話機械」巡回の会場を巡回した。 ①アーツ前橋 会期: 2019年4月19日 (金) ~6月23日 (日) ②福島県立美術館 会期: 2019年7月6日 (土) ~9月1日 (日) ③神奈川県民ホールギャラリー 会期: 2019年10月20日 (日) ~12月1日 (日) ④静岡県立美術館 会期: 2019年12月10日 (火) ~2月24日 (月・祝) ■舞台「日輪の翼」公演 日程: 2019年10月4日 (金)・5日 (土)・6日 (日) 会場: 神戸市中央卸売市場本場内 特設会場	5名	有
10	ULTRA SANDWICH PROJECT	2019.5-2020.3	プロジェクトディレクター: 名和晃平	名和晃平が主宰する、クリエイティブ・プラットフォーム「SANDWICH」における制作、企画、運営に学生が参加するプロジェクト。アーティスト、建築家、デザイナーなど、国内外からさまざまなクリエイターが集い進行する複数のプロジェクトに関わる。2019年度に携わったプロジェクトとしては下記2件の成果が発表された。 ①「ペルギー」展付録デザイン・ジャケットとの新たなコラボレーションに向けたワークショップや報告装綴の実験と検証 ② アートユニット「JART(ジャール)」の展覧「Lobby」[Room] に関するアイデア出し・制作・搬入作業等	4名	有
11	カラフルラボ	2019.5-2020.3	プロジェクトディレクター: 増田セバスチャン	東京・原宿を拠点に「Kawaii」文化を世界に発信するアーティスト、アートディレクターの増田セバスチャンが実施するプロジェクト。プロジェクト前半では、宮城県の杜苑 (おしか) 半島と石巻市街地を舞台に、2019年秋2度目の開催になる「Roboro-Art Festival 2019」で発表する作品《ぼっかりあいた穴の秘密》を学生とともに制作発表。(①) 《ぼっかりあいた穴の秘密》は、展示会場となる田沢浜小学校の校庭に大きな穴を出現させ、その穴の中での体験を鑑賞者がそれぞれに受け取るという作品。期間中はナイトプログラム《ぼっかりあいた穴の秘密: 秘密のはなし》も開催された。プロジェクトの参加学生はナイトプログラムに参加し、鑑賞者の声を聞きながら調整することができた。 ■展覧:「Roboro-Art Festival 2019」 会期: 2019年8月3日 (土) ~ 9月29日 (日) 会場: 田沢浜小学校 プロジェクトの後半では、情報デザイン学科の授業と合同し、企業へアプローチするための商品企画に関する取り組みを実施。2020年1月に企業担当者を招き、展示会形式でのプレゼンテーションを実施した。(②) ■展覧作品の発表・プレゼン 日程: 2020年1月17日 (金) 場所: ウルトラファクトリー	10名	有
12	New village of Extreme Environments	2019.5-2020.3	プロジェクトディレクター: 家成俊輔	建築物の設計から施工、そして運営に至るまで、建築にまつわる包括的な事業を展開するdot architectsと、SFC (慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス) 環境情報学部 松川昌平研究室が連携して取り組む新たなプロジェクト。 現在の社会を支えているインフラや建築自体を循環系の中で考え直し、未来の「生きる建築」の在り方を模索しながら社会における新たな生活基盤の研究を行う。研究過程では、学生らが考えるインフラに関する機構設計と検証のため、山中に小屋を設置した。 ①現在の社会を支えているインフラや建築自体を循環系の中で考え直し、未来の「生きる建築」の在り方を模索しながら社会における新たな生活基盤について実証研究、その成果を発表。 学内誌「LIFE」(2020.3) 会期: 2020年2月23日~26日 会場: 東京都美術館	15名	無
13	ニッポン展覧会プロジェクト	2019.5-2020.3	プロジェクトディレクター: 山本太郎	現代の風景と日本の古典絵画が置かれた日本画ならぬ「ニッポン画」を提唱し作品を展開する画家の山本太郎によるプロジェクト。ウルトラ14年目となる2019年はテーマを「原風景」とし、学生たちは作品の支持体である屏風制作から携わり、天下箱から金取取りに至るまでの屏風作りの一部始終を経験した。完成までの二か月間、山本太郎氏の作品に向き合う姿勢や眼差しを肌身に感じただけでなく、携わった作品が美術館で展示され多くの人が鑑賞するところまで一貫してプロジェクトの中で関わることができた。 ①作品制作補助 展覧会「日本の美 美術×デザイナー展覧、浮世絵版画から現代へ」 会期: 2019年8月10日 (土) ~10月20日 (日) 会場: 富山県美術館 ②作品制作補助 展覧会「U.S.S.I S.H.I. 山本太郎×宮川真一 2人展」 会期: 2019年10月23日 (水) ~10月29日 (火) 会場: 三越銀座 7階 ギャラリー ③奄美大島に建設中の私設美術館からのコミュニケーション制作 展覧会「HINKINI」 開催: 2020年2月12日 (水) ~24日 (月) 会場: 新宮高島屋10階 美術館	5名	有

14	BREDIT	2019.5-2020.3	プロジェクトディレクター：多田智美、竹内厚	「編集」の力をつかみながら、モノはつくらず、出来事やメディアを作り出すプロジェクト。毎週企画編集会議を行い、独自の切り口からイベントや冊子、ウェブサイトなどを企画、制作する。2019年度は、学生個人ごとのGINE企画(工場の履合機を用いた実験)の他、ウルトラの年刊誌「THE ULTRA」の記事の企画・編集・執筆を担当した。	10名	有
15	アートホテルkumagasakiプロジェクト	2019.5-2020.3	プロジェクトディレクター：矢津吉隆	美術家の矢津吉隆が経営し企画運営を行うアートホテルkumagasakiに関するプロジェクト。kumagasakiは、現代美術を中心に様々な観覧会やイベントを企画、人と美術のあらたな関係を築いていく場として話題を集める「消される展覧会」。	10名	有
16	MILESTONES PROJECT	2019.5-2020.3	プロジェクトディレクター：細尾真幸	西陣織の老舗「細尾」が所蔵する約2万点の帯図案をデジタルアーカイブすることを目的としたプロジェクト。2014年度より「Japan Handmade」として活動してきたプロジェクトが6年目を迎え、1万点のデジタルアーカイブを完了したことを機に「Milestones Project」と改名。学生たちは帯図案のアーカイブの傍ら、図案を用いてできる新たな商品企画立案やプロトタイプ制作を実施した。2019年度のプロジェクト活動では、イタリアのファッションブランド「FRILIA」とのコラボレーション商品「FRILIA FW19 JAPAN EXCLUSIVE COLLECTION」のトートバッグとクラッチバッグが、全国の「FRILIA」取扱い店での発売に至った。	12名	有
17	澁川テクニク！プロジェクト	2019.5-2020.3	プロジェクトディレクター：柴田英昭	様々な場所に出向き現地のゴミを用いた作品を制作したり、ワークショップを行うなど全国的に活動を繰り返している澁川テクニクの柴田英昭によるプロジェクト。プロジェクトの中で学生たちは、人々が価値のないゴミだと思っている物に命を吹き込むことを現場から学びながら、自分たちが澁川で拾ったゴミを用いて作品を制作したり、澁川テクニクのワークショップに参加。学生たちは澁川でのゴミ拾いからスタートし、ウルトラファクトリー内の作品制作準備から現場での搬入まですべてに関わり、澁川テクニクの作品コンセプトや手法を体感した。	15名	有
18	CAT! MONSTER! CAR! 巨大彫刻計画《SHIP'S CAT @live!》、《SHIP'S CAT(Fortune)》 受委託2,UF12と同一プロジェクト内	2019.5-2020.3	ヤノベケンジ (株式会社レーサム)	ウルトラファクトリー内で巨大彫刻作品を連続制作するプロジェクト。テーマの異なる3つの作品制作に挑む。学生たちはヤノベとともに作品を制作する中で、その技術、理念、思想、戦略を体得していく。	11名	有
19	CAT! MONSTER! CAR! 巨大彫刻計画《比叡山照像祭》 受委託2,UF11と同一プロジェクト内	2019.5-2020.3	ヤノベケンジ (株式会社オートチャール京都)	ウルトラファクトリー内で巨大彫刻作品を連続制作するプロジェクト。テーマの異なる3つの作品制作に挑む。学生たちはヤノベとともに作品を制作する中で、その技術、理念、思想、戦略を体得していく。	11名	有

No	受託研究名	期間	委託機関	概要 ※200-250字を目安としてください	学生関与(人数)	単位認定
1	松江水郷路2019	2019.6~2019.9	松江ライタアップキャンパシ実行委員会	京道ねぶたを継承した本学学生が、松江水郷路で展示するねぶたの作り方に関するワークショップを行った。現地の方々に教えるながらも、本学メンバーも一緒に制作するというプロジェクトとなった。今年1月島根県出身の漫画家、園山俊二の生誕100周年を記念して「はじめて人間ゴン」に登場するキャラクターを制作。完成した作品は展示され、絶好の撮影スポットとなった。	8名	無
2	えんとつ町のプペルプロジェクト	2019.5~2019.9	株式会社東映株式会社東映京都スタジオ	お笑いコンビ「キンゴング」の西野亮廣原作の絵本「えんとつ町のプペル」の世界観を体験できるイベントが大雪映画村で開催される事となり、本学はその会場の装飾を担当した。絵本の名シーンで巨大撮影スポットとして制作。また、壁面には原画データや、学生が決定したセリアのカラースキームシートを掲示した。	34名	無

3	高槻市都市緑化フェアポスターデザイン	2019.4~2019.8	高槻市街にぎわい部農林緑政課	第35回目となる高槻市都市緑化フェアの集客増加を目指すため、チラシデザインのイメージを一新したいとの依頼を受けた。「水と緑があふれる豊かなまちをめざして」をテーマに、小さな子どもがいるファミリー層や子どもをターゲットとして、明るく温かみのあるデザインを学生に自由に提案をしてもらい、コンペ形式で制作者を決定した。	1名	無
4	「長浜益梅園」空間デザイン	2019.6~2020.3	公益社団法人長浜観光協会	滋賀県長浜市で毎年開催される「長浜益梅園」は今年で69回目を迎えた。ピーク時は延べ15万人の来場があった本企画だが、近年は5万人を割り、来場者も減少していた。そこで本企画に新しい風を盛り込みたいとして、2019年から2年連続で長浜観光協会より依頼があった。これまで足を運ばなかった新築の茶屋をターゲットとし、学生ならではのアイデアで展示の工夫を施した。陰影を使った技法や来客の導線考えた益梅の見え方はもちろん、休憩スペースのカフェの企画、観望デッキの制作にも関わった。	15名	無
5	大塚国際美術館衣装制作	2019.4~2019.8	大塚国際美術館	名画の登場人物が着ている服を実際に着ることが出来る大塚国際美術館のイベント「アートコスプレフェス」。この衣装制作を手がけた。今回のテーマは“レボリューション（革命）”。絵画史上に革命を促した名画、人物などフランスに關する絵画の人物が着用している12着の衣装を制作した。	14名	無
6	長栄マンションリフォーム（stamp）	2019.5~2020.4	株式会社長栄	株式会社長栄が管理するマンションを学生のアイデアでリフォームするプロジェクト。学生は長栄のスタッフや施工業者の前でプレゼンテーションを行い、最優秀・優秀賞・特別賞が決定される。受賞作品は実際に施工され、市場で居住者を募集する。	17名	無
7	Galaxy新機種開発プロジェクト	2019.4~2019.6	株式会社 A&Kクリエイティブ・ワン	サムスン電子から発売されるスマホ「Galaxyシリーズ」の最新機種の開発、広告代理店である株式会社A&Kクリエイティブ・ワンと京都観光協会とともに実施。「とっておきの京都プロジェクト」と題し、最も有名な観光名所ではなく、「広く知られていないが素晴らしいスポット」という切り口で取り上げた観光スポットを最新技術を搭載した端末で撮影する事で、端末と京都の両方をPRする事になった。	9名	無
8	京都フォーライフプロジェクト	2019.6~2019.12	NPO法人京都フォーライフ	NPO法人京都フォーライフは、法人障害者総合支援法に定められた36か所の就労継続支援A型事業所を運営している。この事業は、企業就労の機会に恵まれない障がい者に対し、雇用契約を結び、就労の機会を提供し、作業活動を通じて知識・技能の向上を図るためのサービスである。特に久御山事業所ではコーヒー豆のブレンドと選別、焙煎、焙煎後の検品など、徹底した技術指導を受けながら、すべて手作業により従業員が取り組んでいる。本学は、そのコーヒーを販売時のノベルティグッズ制作に取り組んだ	6	無
9	院内カフェでの作品展示会	2019.5~2020.3	日本バプテスト病院	「健康なときから」続けてもらう病院を目的とし、より多くの方へ認知度を高めるため院内カフェを兼営チャリティーとして無料開放し、本学の学生の作品を年3回で展示、来客の方に作品を観て楽しんでいただくことで、病院、大学の両方にとっても相互効果が見られる。	3名	無
10	お菓子のミカタ探検動画制作	2019.9~2020.3	大阪製菓株式会社	2017年、多様なデザインで展開する洋菓子向けのお菓子の販売部門「お菓子のミカタ」のプロモーション活動の一つとして、一般の方にも贈り物としてそのお菓子を活用したいと思えるように広範映像を企画し、制作を行った。今回はその第二弾の制作。前回に引き続き、連続やアクションを取り入れている。また、新たにオリジナルの楽曲を制作し、内に取り入れられている。	17名	無
11	都をどり看板制作プロジェクト	2020.1~2020.4	株式会社実業広告社	2019年4月に公演となる都をどりの一文字看板の企画制作。商標において令和最初の公演となり時代の節目となる記念公演となる。商標においては過去最大の制作し一文字看板の裏面がご期待されている数作となる。演題「狂騒令和花舞踏」から着想を得てつくられたデザインには、「令和の舞踏のワラ」である「舞」「狂」「花」の3色を取り入れています。華らしさを持ちながらも「都をどり」の文字が映えるシンプルなものに仕上がった。新型コロナウイルスの影響により、都をどりの公演は中止となり、看板も商標に掲げられることはなくなりましたが、学内で展示されたことで一人でも多くの方にその作品を見てもらうことができました。	14名	無
12	tuperatupera×こども芸術学科 クリスマス絵本ライブ	2019.6~2019.12	こども芸術学科	本学の客員教授であるtuperatupera先生とこども芸術学科のコラボレーション企画。tuperatupera先生の作品を大勢の子どもたちに読み聞かせをするというイベント。学生メンバーはどういった語りつけをするのか会議の段階を考へ、実際に自分たちで制作。また、当日のお客様の受付や誘導、入退場の事まで全てを考えた。JR京都駅の、「えき美術館」で開催されていたtuperatupera展覧会とも連動し、イベントは400人以上が応募する人気だった。	7名	無
13	「リコミック益踊り」 ～京から健康、みんなの益踊り～	2019.4~8	大丸松坂屋大丸京都店	2018年度情報デザイン学科にて実施された授業で選ばれた企画を、実際にプロジェクトとして実施。女優の伊原六花さんをスペシャルサポーターとして迎え、「健康寿命を伸ばし、親子三代で楽しめよう」とをテーマに、ダンス教室の「リコミック益踊り」のなかから「益踊り」を「リコミック」に落としこみやすい動画として制作。撮影や演出については、映像制作を含むながらも、京都タワーや大文字など、京都のランドマークを取り入れた完全オリジナルで制作。全体企画は情報デザイン学科（堀井先生）、振付・内閣運は舞台芸術学科（平井先生）、歌詞制作は芸術表現学科（山田先生）、楽曲レコーディングはキャラクターデザイン学科（田口雅敏先生）にご協力いただき、学科横断型プロジェクトとして実施。	情デ：3名 文芸：5名 舞デ：19名	無
14	ユニバーサルミュージック本社 オフィスアートプロジェクト	2019.4~10	ユニバーサルミュージック合同会社	ユニバーサルミュージック合同会社（以下、UD）の本社移転に伴い、本社オフィス空間にアート作品を設置。藤井先生ディレクションのもと、本学コミュニケーション「アルテック」12名、Galley 9名、2名、音楽生13名、2名、20名が参加し、2名作品をオフィス内に展示、音楽とアートとの関係を考えたこのプロジェクトは、芸術アーティストの支援と共に、UD所属のアーティストや社員のアートプロジェクトを刷新するオフィス空間となることを目指した。また、各作品にはそれぞれのイメージに合うイラストがついており、音楽とアートの融合を感じられる取り組みとした。	-	無
15	基盤装置VISPER 外装デザイン（3Dデータ）	2019.4~6	シライ電子工業株式会社	以前産学連携を行っていた実績からお声がけいただき、新しい基盤装置の外装デザインの依頼をいただいた。現地調査、ヒアリングに基づき、学生3名のデザイン案をプレゼン後、内1名のデザインを採用するコンペ形式で進めた。採用された案は、細かなデザインのブラッシュアップとカラーリングの提案、内蔵する構材との調整を繰り返し行い、実用製品として商品化となる。	PD：5名	無
16	幼児向け玩具のデザイン提案	2019.5~10	きらら学園	きらら学園が製造販売している知育玩具、もしくはきらら学園が保育で使う知育玩具のデザインを実施。現地調査に基づき、何をどのように育んでいるかを分析しながら、学生自身が何をどの様に育みたいと考えたかを自分の視点で考えながら進めた。	PD：7名 情デ：5名 舞デ：1名	無

17	和三益の新しい商品提案	2019.5～2020.3	有限会社恵方庵	恵方庵は、和三益のみを使用した押し菓子の製造御をおこなっている。元々は季節や慶弔の贈答品としての需要が高かったが現在ではその需要は激減しており、また和菓子そのものの売り上げも下がっていることから、新たな商品を新たな市場に展開する必要がでてきた。 そこで、和三益の新しい商品（商品のデザイン、パッケージ、販売方法）を考え、2020年3月の「京都ギフトショー」に恵方庵ブースを出展し、試作品の展示を行い受注活動を開始する。 ※新型コロナウイルスの影響により、「京都ギフトショー」は開催されなかった。	FD:9名	有
18	PEEK素材を使用した先端可動型カニューレの試作方法の研究開発	2019.4～2020.3	タツタ電線株式会社	PEEK素材を用いて、先端部分が可動するカニューレ（心臓や血管などに挿入する医療器具）の試作モデルの検証、モック制作、作業用データを作成、非常に専門的な知識が必要なことから、レーザーカッターおよび3Dデータ作成に優れている長尾先生にご協力いただき、ウルトラファクトリーにて研究開発を行った。	-	無
19	尾上右近 自主公演「研の會」グッズ制作	2019.6～8	尾上右近事務所	2019年8月春秋館にて行われた尾上右近自主公演「研の會」におけるオリジナルグッズを制作。春秋館の芸術監督でもある市川猿之助さんと交流のある尾上右近さんより直々に学生とコラボした取り組みがしたいとご提案いただき、実現 公式の公演グッズとロゴのデザイン提案を行い、右近さんと学生とでコミュニケーションをとりながら、検討を進めた。これまでの公演グッズの傾向、ファン心理を分析し、学生の柔軟なアイデアを活かした提案を行った。	情ダ:2名	無
20	「縁」プロジェクト	2019.6～9	やまなみ工房	滋賀県甲賀市の福祉事業所「やまなみ工房」の利用者が手がけたアート作品を、京都市内の観光地（岡崎公園、徳間寺道）にてお披露目し、障害者アートの魅力を知ってもらうプロジェクト。やまなみ工房での現地視察を経て、実際に利用者の方々や学生がコミュニケーションをとり、アートへの向き合い方を検証。 学生各自が考えた作業さんとその方が手がける作品からインスピレーションを受けて、作家さんそれぞれの得意な台制作。それぞれの得意な本物のアート作品をのせて、京都市内のイベントにてやまなみ工房の利用者のみなさんと一緒にPR活動を行った。また、通りがかりの方のお手元に残るようにと、各作家と作品の紹介リーフレットも作成、英語に翻訳も取り、海外の観光客にもアピールを行った。	二学:5名	無
21	セブンティーンアイス 新しいペンダーマンシンの企画、提案	2019.9～2020.3	江崎グリコ株式会社	街中でみかけるアイスクリームの自動販売機「セブンティーンアイス」は全国に約2万台あるが、ほぼオフライン状態で管理している状態で、業者が自動販売機をひとつひとつ回り、減っているアイスを確認していくというアナログな在庫管理方法で運営されている。この企業課題を共有した上で、ターゲットは「学生（特に大学生）」とし、未来の自動販売機のデザイン、企画提案およびPR提案を行った。	クロスステック:7名	無
22	無印良品 ラクト山科店オープン記念ワークショップ	2019.9～11	株式会社良品計画	無印良品 ラクト山科店のオープンイベントとして、地域密着に優しい店づくりを目指す無印良品の「オリジナルマイバッグを持ってこれからも買い物を楽しんでもいい」という願いが込められた本企画。特に山科店が大切にしている「食」をテーマに、学生がマイバッグにプリントする絵柄デザインを提案。オープン記念イベント期間の4日間、来店されたお客さまの好きなデザインを、シルクスクリーンという印刷技術を用いてマイバッグにプリントできるワークショップを実施した。また、店舗内を彩る黒板POPスペースに、山科店の看板商品アビールするイラスト制作も行った。	FD:7名 美工:5名	無
23	「第39回 近畿高等学校総合文化祭京都大会」総合開会式プロデュース	2019.4～2019.11	近畿高等学校総合文化祭京都府実行委員会	近畿2府8県（京都・滋賀・大阪・兵庫・奈良・和歌山・三重・福井・徳島・鳥取）の高校生たちが集結し、各々の芸術・文化活動を発表し合う総合文化祭「第39回 近畿高等学校総合文化祭京都大会」にて総合開会式のプロデュースを手掛けた。舞台芸術科の平井教授、ごまはえ先生を中心にオープニング演出やステージ進行を企画し、アニメーション制作ではキャラクターデザイン学科が中心となり、複数の参加高校の生徒たちと本学学生が共同でワークショップや映像制作を行うなど、文化祭当日に向けて、お半年間におわたった準備期間を通じて複数の高大連携プロジェクトを継続的に実施した。	30	無
24	比叡山延暦寺「雨隠敷」アート展示	2019.8～2019.11	株式会社オートクチュール京都	天宮山延暦寺の比叡山延暦寺で開催されたカルチャーイベント「雨隠敷」(11/2～4)にて、「一隅を照らす」をテーマにしたアート展示を実施。非公開の指定重要文化財「にない堂（常行堂、法華堂）」と「大書院」を会場に、ウルトラファクトリーが「KOMAINI-Guardian Boats-」を制作・展示、京都伝統文化イノベーション研究センターが京都の職人とコラボレーション制作した大提灯で仕立てた茶室の展示等を実施。	22名	無
25	久御山町PR動画制作	2019.5～2019.11	京都府山城広域振興局	京都府山城地域管内の12市町村地域の魅力を学生の視点で見直し、観光誘客につなげる動画を京都府内の大学生が企画制作までを行うプロジェクト。本学は「久御山町」を担当し、情報デザイン学科3年生4名が参加。現地で調査や取材を経て動画コンセプトを「町の人々の暮らしの姿を凝縮したサウンドスケープ」に決定し、取材、撮影、編集を経て3分の映像作品「音（お）のなる方へ久御山町の音を響く」を完成させた。	4名	無
26	ヴェルディ京都芸術大学店・店内掲出アート作品制作	2019.5～2019.9	ヴェルディ 京都芸術大学店	自家焙煎珈琲の専門店「ヴェルディ 京都芸術大学店」の店内を彩るアート作品を学生から募集。コーヒーの選別に使われる麻袋を使用した「特製キャンバス」を用いた絵画制作に、10名の応募があり、8名の学生が取り組んだ。カカオ農園から生豆の姿をこめて「1杯のコーヒー」に至るまでを切り取った各ジャンルを学生たちがそれぞれ表現した。（現在掲出中）	8名	無
27	左京区90周年記念・健康からた絵札制作	2019.7～2019.9	左京区役所	左京区役所の健康長寿課にて左京区の地名や健康長寿をテーマにしたかるたの読み札の句を募集。応募のあった478作品から「あ」「わ」まで選出された44つの読み札について、情報デザイン学科2年生が絵札制作を担当。小学生から高校生まで幅広い年代の区民が熱心な思いでイラストデータを作成。かるた用パッケージデザインも担当した。納品したデータは普通サイズのほか大判サイズ(A3)が制作され、小中学校や区民に広く貸出された。	1名	無
28	PrmaCeed10周年記念デザイン制作	2019.10～2019.12	株式会社PrmaCeed	東京を拠点とするウェブマーケティング企業より、創業10周年の記念デザイン案の提案を依頼される。情報デザイン学科学生3名がコンペに参加し、テーマに沿ったデザイン案とノベルティグッズの企画案を提出。選ばれた1案が採用され、実際に顧客への案内用A4ハガキやノベルティグッズに展開され配布された。	3名	無
29	小山薫堂副学長オリジナル「バイブレンド」販売パッケージデザイン制作	2019.6～2019.8	ヴェルディ 京都芸術大学店	小山薫堂副学長オリジナルブレンドコーヒー「バイブレンド」のパッケージデザイン案を学生に募集。市川猿之助さんプロデュース「縁之助ブレンド」につづく著名人とのコラボレーション商品に5名の学生が応募。京都芸術大学のお土産グッズをコンセプトに、大階段をポップにイラストで描いたプロダクトデザイン学科2年生のデザイン案が採用。数回のファッショアップを経て商品化された。	1名	無
30	DAIHATSU心斎橋角屋ワンダーランドプロジェクト	2019.4～2020.1	松竹芸能株式会社	2019年1月に大阪・心斎橋に開業した松竹芸能株式会社のエンターテインメントライブスペース「DAIHATSU 心斎橋角屋」。1960、70年代に上方演芸の殿堂として栄えた「角屋」の由緒ある名称を引き継いだ劇場で、京都芸術大学がクラウドファンディング返礼品のデザイン、場内を彩るアート作品の制作に取り組んだ。	10名	無
31	T-JOBプロジェクトマッピング	2019.4～2019.6	T・ジョイ京都	T-JOB京都入口の自衛壁面に京都をイメージさせる「文庫」をテーマとしたプロジェクトマッピング制作。映画館を訪れるお客様に、驚きと京都ならではの思い出を届けるビジュアルの制作を行い、約1ヵ月に渡り放映された。	2名	無
32	KYOTO STEAM 事業創発・未来フォーラム2020	2020.2～2020.3	KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会	KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会より、交流祭のネットワーク構築事業として、シンポジウム運営を委託。【KYOTO STEAM事業創発・未来フォーラム2020】に本学が共同として参加し、本学関係者 藤辺広之（情報デザイン学科科長）、小笠原浩（情報デザイン学科教授）、谷崎トラ（芸術教育センター客員教授）らも登壇した。	無	無
33	京ASDCs	2020.3	京都大学	京都大学内において開催される予定であったSDGsのイベント「京大プラ博」様々な企業や自治体に参加する当イベントにおいてシンボルとなるオブジェ（モニュメント）の制作依頼があった。リユースを目的として回収し集まった紙くずを色分けし、SDGsのアイコンに見立てたモニュメントを制作した。新型コロナウイルスの影響でイベントは中止となったが、制作物は今後さまざまな場所で設置展示される。	無	無

34	持続可能な森林づくりイノベーション創出事業のアクセラレーションプログラム	2019.9	一般社団法人ビジネス・エンジニアリング・センター	本学フェルピニングアーキテクトラボ (Fel1+ing)実現のための事業連携ラボ コーディネートにより実施。林野庁からのアクセラレーションプログラム【SUSTAINABLE FOREST ACTION】開催の関連イベントとして、エコイノベーションを9/16(月)本学学生キャンパスにて開催。林業におけるイノベーション事業創出のコンサルティング・会議提供・外部広報支援を行った。	無	無
35	スターバックス新店アート作品展示	2019.12	スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社	スターバックス コーヒー ジャパンが大方舟の公認内店舗として昨年12月にオープンした「スターバックス コーヒー 明府公庫店」に、京都造形芸術大学 美術工芸学科の卒業生・森原ひな乃さんの彫刻作品が恒久展示された。同作品は「ROAD ANNUAL2019-学術賞地味準賞」に出品され、そこでスターバックス コーヒー ジャパンの方が作品を贈った事がお店へ設置するきっかけとなった。	1名	無
36	山味覚糖新作商品開発プロジェクト	2019.1～2019.12	山味覚糖株式会社	「山味覚糖様とのコラボレーション企画第2弾。 「京都のお土産になるような山味覚糖の商品を考えて欲しい」という依頼のもと、「京都のお土産とは何か?」「山味さんのお菓子は?」「どこのイメージキャラクター?」という問いを掲げ、200案以上のアイデアを考案。その中で、「京つけもの唐利」さんとのコラボレーション企画「おひわふちよしば漬」案が採用され、9月の学園祭で先行販売。11月に一般販売となった。	5名	無
37	天草市「旅するキャンパス」創造事業	2019.11～2020.03	天草市	2019年7月に包括連携協定を締結した熊本県天草市からの受託事業。「大学のキャンパスを設けてほしい」という依頼に対して、大学の機能を「①地元の子供達や市民の皆さんの学びの場、②様々な専門室(教員)に課題を相談できる、③柔軟な視点を持った学生の活動や提案」という点に設定し、その3点の機能を満たすことができるプログラムを提案。「天草市の日常課題」(上記①)、「令和五定の観」(上記②)、「道の駅デザイン」(伝統産業イノベーション)(上記③)で実施。	9名	無
38	AMMORIトリエンナーレ2020(準備段階)	2018.01～2020.03	青森市	2016年9月に包括連携協定を締結したことを契機に「新しい芸術祭を企画してほしい」というご依頼の元、2017年度に「AMMORIトリエンナーレ2017」の企画・ディレクションを実施。3年後の2020年度に実施予定である「AMMORIトリエンナーレ2020」の企画・ディレクションも継続してのご依頼を受け、その準備段階として芸術祭全体テーマの企画、公募展の枠組み策定と審査員の選定、展覧会出展アーティストの選定と現地フィールドワークを行った。また、Education Programとして小中学生向け教育プログラム(ワークショップ)と市民向けシンポジウムを実施。さらに「アートの寺子屋」と題し、複層的に学べるオンライン教材としても発信。	1名	無
39	亀岡市「霞の芸術祭」に向けた拠点形成プロジェクト	2019.4～2020.3	亀岡市	亀岡市で計画中の「かもおか霞の芸術祭2020」に向け、地域の有する魅力や資源を可視化し、人的・物的資源をネットワーク化することにより、新たな価値の創造を行うこと目指して、活動拠点の整備(KIRI CAMP)を行い、そこを拠点に地域・大学・国内外関係者のネットワークの構築を行った。主な事業は次の4点(1) KIRI Cafe (人が集まれる拠点形成) (2) KIRI Wisdom (かもおか霞の芸術祭の企画の資料となる「知恵」を収集する講座) (3) KIRI 芸術大学 (4) KIRI マルシェ、(5) 2年間の集大成となる「かもおか霞の芸術祭」コアワークの開催。	20名	無

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
アート・コミュニケーション研究センター						
1	社内公認型研修『0 (ゼロ) (アット)』	2019.6.22-23, 9.7-8, 2020.2.22-23	バーゾルホールディングス株式会社	バーゾルホールディングス株式会社主催の社内公認型研修『0 (アット)』は、「遊ぶように学ぶ」というコンセプトのもと、NPO法人や社外企業と連携し、課題解決ワークショップやアート鑑賞、演劇など、社員研修としては珍しい手法も取り入れながら、変化に合わせ自律的に挑戦する社員の育成を目指している。同研修に伊達氏が連携し、レクチャーとワークショップ、AOPIによる作品鑑賞を行った。	―	無
2	樽山穂穂6研究会7月例会	2019.7.17	樽山穂穂6研究会	丸尾市内の小企業経営者が所属する団体、樽山穂穂6研究会の定例会に本センターの岡崎が登壇し、「対話型アート鑑賞を学び、体感、人材育成に活かすワークショップ」と題したセミナーを実施した。	―	無
3	リクルートマネジメンタル	2019.9.17, 9.25, 11.18, 2020.2.5	株式会社リクルートマネジメンタルソリューションズ	株式会社リクルートマネジメンタルソリューションズの公認講師に本センターの岡崎が講師として招聘され、「アート鑑賞で鍛える専攻力・想像力」をテーマに「アート鑑賞で鍛える専攻力・想像力」をテーマとしたセミナーを実施した。	―	無
4	北園銀行従業員組合「未来のアイデアを生み出す計算法」	2019.9.21	北園銀行従業員組合	北園銀行従業員組合主催の組合内公認セミナー「未来のアイデアを生み出す計算法」に本センターの岡崎と伊達が登壇。「自分とは異なる他者の見方を活かす」グループの相乗効果によってアイデアを生み出す方法を学ぶことを目的とし、ワークショップ、対話による作品鑑賞を行った。	―	無
5	Exploring 展 対話型鑑賞プログラム	2019.10.5	一般社団法人日本現代美術振興協会	文化庁・若狭市立美術館主催の「Exploring」共催するものからみつける芸術のざけろ」の開催イベントを本センターの岡崎が担当。一般公募者を対象とし、視覚的な芸術作品を用いて、AOPIによる作品鑑賞を行った。	―	無
6	OpenStorage2019「鑑賞プログラム」	2019.10.20	一般社団法人おさか創造工房財団	一般社団法人おさか創造工房財団主催の「鑑賞プログラム」(OpenStorage 2019) (10/12-22)において、本学アートプログラム・アートコミュニケーション研究センターが協力し、本年度に引き続き対話型作品鑑賞プログラムを開催・実施した。	ASP学科学生4名	無
7	SETOUCH企業フォーラム	2019.10.26	瀬戸国際芸術祭実行委員会	「企業のサステナブルな発展を目指す」をテーマに10/26-27に開催された「SETOUCH企業フォーラム」。	―	無
8	ダイハツ労働組合専任役員研修 対話型鑑賞プログラム	2019.10.29	株式会社日本マンパワー	参加企業に対し、今後の企業経営の一助となるよう、芸術作品の導入や変遷について紹介するアートや講義とのセッションが行われた。本センターの岡崎と伊達氏が講師として招聘され、2日目に「アート体験プログラム」にて、レクチャーと作品鑑賞を用いて、AOPIによる作品鑑賞を行った。	―	無
9	教育普及研究協会 教育普及研究会	2019.11.20	全国美術協会	株式会社日本マンパワーからのパートナー提携案件。ダイハツ労働組合の専任役員研修に本センターの岡崎が連携し、レクチャーとワークショップ、AOPIによる作品鑑賞を行った。	―	無
10	東京都写真美術館 シンポジウム 対話型鑑賞プログラム	2019.11.24	東京都写真美術館	全国美術協会 教育普及研究会との会合で、本センターの岡崎が「対話型鑑賞の過去・現在・そしてこれから」と題した講演および、参加者とのディスカッションを行った。	―	無
11	横浜市芸術文化振興財団 対話型鑑賞プログラム	2019.11.26	横浜市芸術文化振興財団	東京都写真美術館主催のシンポジウム研修で、本センターの岡崎が「対話型鑑賞 ユージアム」と題した講演および、参加者とのディスカッションを行った。	―	無
12	株式会社The Chain Museum 社内研修	2019.12.23	株式会社The Chain Museum	横浜市芸術文化振興財団主催の専門人材育成研修で、本センターの岡崎が「対話型鑑賞の過去・現在・そしてこれから」と題した講演および、参加者とのディスカッションを行った。	―	無
13	『な』にわの企業が集めた絵画の物語」展』鑑賞プログラム	2020.1.24-2.12	関西経済同友会	株式会社The Chain Museumの社内研修に本センターの伊達氏が登壇し、レクチャーとAOPIによる対話型鑑賞を行った。	―	無
14	先学状更新講習「コミュニケーション・スキルアップの3日間！」	2019.7.27-29, 2019.8.10-12	―	関西経済同友会主催の鑑賞会「な」にわの企業が集めた絵画の物語」において、本学アートプログラム・アートコミュニケーション研究センターが、小学生3～5年生を対象とした対話型鑑賞プログラムの監修を行った。また、本センターの岡崎が関西経済同友会、学校教員、一般向け講座の講師も担当した。	ASP学科学生9名	無
15	主権セミナー「アートとコミュニケーションで鍛える 先が見えない時代のサイババル術」	2019.11.17	―	2009年、2011年～2018年に引き続き、2019年度も、「コミュニケーション・スキルアップの3日間！」と題し、本学を会場で開催。講師として本センターから、伊、伊達、岡崎、三野野の4名が参加。また三重県総合博物館館長である大野野氏を招き、美術教育、理科教育、臨床心理学と、多様な視点から「コミュニケーション」をテーマにレクチャーやワークショップを実施した。	ASP学科学生4名	無
16	ISLEプロジェクト	2019.4.1～2020.3.31	―	内田洋行教育総合研究所との共同セミナー「アートとコミュニケーションで鍛える 先が見えない時代のサイババル術」を東京大学豊島ホールにて開催した。レクチャーとワークショップ、AOPIによる作品鑑賞を行った。	―	無
				2016年度より、京都大学と研究開発プロジェクト「先端生命科学を促進する先駆的 ESIアプローチ」を進めている。2019年度は、先端生命科学における倫理的課題をテーマとしたワークショップを開催、一般参加者を募り、香川県豊島にて実施した。	―	無

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
プロダクトデザイン学科						
1	2019年度IPプロジェクトⅢ Vとして実施	2019.9～2020.3	LIXIL株式会社	概要 ※200～250字を目安としてください LIFE/2035 2035年、自らの暮らしにおける新しい空間のあり方を探求し それを実現する具体的なLIXILデバイスを選び、空間を含めたプロダクトのデザイン提案を行った。 ■2020年の指定 (LIFE/LIT共選、グループワーク) ■LITへの商品提案 ■LITへの商品提案	16名	有
2	コイン・ワーキングバッグ開発プロ	2019.2～2019.7	株式会社コイン	デザインシンキング手法により、技術者の現場観察から顕在化した課題点を見出すと共に、使用者ヒアリングから潜在ニーズを抽出。その解決案をラピッドプロトタイプングで実験を繰り返す中から抽出し、コイン様へ提案。 頂いたフィードバックを反映して最終モックアップとして提案案を実施した。	4名	無
3	IPプロジェクトⅡ・Ⅳ	2019.4.7～2019.8.3	株式会社アタタス	アタタスが取り扱っている素材のデザインをすすめるため、書籍『123の家』に掲載されているお宅訪問を行い、現地調査を実施。その調査結果を分析して、ポイントを探り出し、ポイントを元にコンセプトを立案。コンセプトは先方へプレゼンし、FBを頂き、それを元にデザインを実施した。	15名	有
4	プロダクトデザイン総合Ⅳ A	2019.9.27～2020.01.31	株式会社ユニオン	株式会社ユニオンは、これまで公共建築、オフィス、ホテルの分野においてドア金物を中心に、幅広い商品展開を行っている。 産学連携の目的として、マス時代から個の時代への変化をふまえ、よりニッチな市場への、ユニオンの新たな可能性に帯する仮設展示を行った。ここでの提案は、スグにビジネスにはなるようなものではなく、新しい発想のヒントになるものとして実現性よりもリサーチに基づく新しい視点の提案を目指し提案を行った。	12名	無

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
情報デザイン学科						
1	京都伝統文化の森推進協議会 公式キャラクターを使ったLINEスタンプの開発	2019.4～2020.3	京都伝統文化の森推進協議会	概要 ※200～250字を目安としてください 京都伝統文化の森推進協議会 (http://www.kyoto-forestmakanomori.jp/index.html) は、清水寺、青蓮院門跡、高台寺、醍醐商店街振興協会の協力を得て、歴史ある東山の森づくりを実現し、自然と共生する日本文化を発信する団体。2019年度の事業として公式キャラクターを使ったLINEスタンプを開発することになった。情報デザイン学科との産学連携事業として進めた。	2名	無
2	ユニバス芸術プロジェクト	2019.5～2019.11	株式会社海運	2017年度から前掲して行われる株式会社海運主催の芸術プロジェクト。ユニバスに集約するお披露のための取次、広報の新たな展開などを提案し、実際に展示などをおこなった。	33名	有
3	国際アニメーションデー in 京都2019 (IAD in KYOTO 2019)	2019.9.1～2019.10.18	国際アニメーションフィルム協会日本支部 (ASIFA-JAPAN)	芸術性に優れた世界の短編アニメーションの上映とレクチャーを学生および一般を対象として実施した。学生はボスターやサインのデザインでも参加した。	1名	無
4	ビームスプロジェクト	2019.9	ビームス	産学連携で企画したBEAMSジャパン京都店における商品企画	13名	有
5	電通人権アートプロジェクト	2019.9～12	株式会社電通	・毎年、株式会社電通が指定校と連携し、12月初旬に開催される人権週間に向け、ポスター制作を行っている。 ・そのプロセスは、人権問題をいくつかのテーマに分け、テーマごとに電通のコラボレーターが先行作成したキャラクターに学生がビジュアルを作成しポスターに仕上げ、ポスター制作に関しては、電通のアートディレクターが数回にわたり、講義を通じてアドバイスを。 ・最終的には、学内と電通(東京と関西)や他の公共施設で人権週間に展示された。	25名	無
6	花丸「無礼」ゆかりの神社を1億円を集めて、救え！ 4-(1)-① 産学連携本部	2019.09～2020.3	信賢興地企業	花丸で有名な無礼ゆかりの信賢興の御殿を神社を救え！を合言葉に、1億円を集める仕組みを提案。クラウドファンディングも導入し、実現を図った。	28名	有
7	ara7. 観山電鉄案件	2019.8～2019.9	観山電鉄	履修教科共同プロジェクト。 依頼3項目の内1項目を担当し、Tシャツのグラフィックデザイン(人手2名)を行った。	1-3名	
8	教育情報出版教科書レイアウトデザイン	2020.2.1～2.28	教育情報出版	教育情報出版は国内大学で採用される教科書を多数出版している。そのレイアウトはほぼ一つのフォーマットによって編集デザインされていたが、大学生の目線でより良いデザインへと改善すべく本学科に依頼があった。表紙以外の多くの部分について、2名の学生がそれぞれに新たなフォーマットデザインを提案した。	2名	無
9	駅ナカアートプロジェクト	2019.10～2020.3	京都市交通局	東山駅通路のタイル壁に鉄道壁画。その向かい側に鉄道の古い車庫を再現。写真とイラストで壁画を構成し大型出力。壁画はブロックごとに出力したシートを分割し、タイル目地と既存の駅壁画タイルを接合しながら設置。タイルそれぞれの形や色やパタンがユニークに交差する。実空間と出力したグラフィックが融合する空間を目指した。鉄道のコミュニケーションが人と人の触れ合いだけでなく、内装のビジュアルやお洒落の演出、物を扱うデザインと、空間そのものの息遣いや気配に求める「ポスト・コミュニケーション」をテーマにした。	7名	無
10	2019年度開講寄付講座 Airohub 京都造形芸術大学×協賛企業 学生が考える「次世代のホームシェアリング」	2019.4～	Airohub Japan株式会社株式会社Stroly株式会社ソナフォスター	「次世代のホームシェアリング」をテーマとし、世界中にある無一無二で感動的な場所を提供するホストと、その土地でしか得られない貴重な体験を追求する旅行者をつなぐための新たなサービス。新しいスタートアップと教育の分野で共創する学生が「シェアリングエコノミー」の学びからAirohubの価値を高め、協賛しながら構築することを目標とした。Airohubにとって京都造形芸術大学の連携は国内大学の初の連携であり、寄附講座の成果として試験的プロジェクト開始まで結びついたことは国内ホームシェアリング市場に大きく寄与する初の試みにもなっている。企業とともに学生が考案した「次世代のホームシェアリング」のための3つのサービス企画は、以下のとおり。 1. 思いを視覚的に残すサービス ～ Reminisce ～ 2. ベーシックサービス ～ Baby ～ 3. 朝食を提供するサービス ～ Breaky ～	28名	有
11	京都信託金庫河原町ビル 「Question (クエスチョン)」内のサービス提案、カフェ運営	2019.9～	京都信託金庫	2020年10月に開業する京都信託金庫河原町ビル「Question (クエスチョン)」内の飲食店・コミュニケーションスペースの企画・運営に携わった。 新たな技術サービスを生かす試みも進めた。	5名	無

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	北白川芸術映画製作『嵐電』（鈴木卓爾編）	2017.10～2020.3	森有株式会社オムロと映画学科の共同製作	映画学科の「北白川プロジェクト」第6弾。監督を学科教員で映画監督の鈴木卓爾が担当。京都の嵐山電車を舞台に、不思議な妖怪電車の都市伝説を絡めながら、男と女、人の出会いと別れを描く。撮影には京福電鉄、京映京都撮影所協賛、地元京都に愛され親しまれる関係各社が全面協力し、映画学科の学生が教員と共にスタッフ・キャストを担った。主演は、第一線で活躍する俳優・井浦新氏を迎え、卒業後も活躍中の俳優・大西礼芳が観覧出演を果たした。	25	無
2	北白川芸術映画製作『のさりの島』（山本起也編）	2018.04～2020まで継続予定	株式会社北白川派が製作 京都造形芸術大学、京都造形芸術大学京都造形芸術大学映画学科が製作協力 京都本報 天草市、熊本県が製作助成	2017年、休止中であった映画学科の「北白川プロジェクト」が特選の再スタート、その第二弾として『カミハヤ商店』監督の山本起也が、未だ後を絶たない「オレオレ詐欺」をモチーフに、「誰も、何かを信じない」という人間の「希望」を描く、本映画の製作は、全編ロケを天草で行うのみならず、少子化・高齢化にともなう様々な課題を抱える地方都市の課題を解決することに少しでも映画製作が寄与できればと、天草の魅力をもとめた映像資料の製作やガイドブックなどの製作も同時に行っている。2021年度全国公開予定。	20名	有
3	北白川芸術映画製作『CHAIN』（福岡芳穂編）	2019.04～2021まで継続予定	株式会社北白川派が製作 京都造形芸術大学、京都造形芸術大学映画学科、株式会社ギークビジュアルズ、東映株式会社京都撮影所が製作協力	2017年に再開した「北白川プロジェクト」の三作目。『正しく生きる』などの監督福岡芳穂が、権井友紀子プロデューサーのもと、京都の大学でなければ成り立たなかった東映京都撮影所の全面協力を得て、北白川派初の時代劇に挑む。異議とした幕末の京都で時代の激しい変化に翻弄される若者たちの姿を、いま我々が生きる時代と照応させ、新機軸の時代劇として描く。映画学科俳優コース卒業生2021年度全国公開予定。	90名 (全員に単位認定するわけではない)	有

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	CHIMASKI ジュエリーデザイン、販売	2019年度後期	株CHIMASKI	概要 *200-250字を目安としてください CHIMASKIのジュエリーのエッセンスを取り込み、自身のフィルターを通過させプロダクトとして、アウトプットする過程。ものを仕上げるだけでなく、他者が欲しがる理由や価値、新しい素材などについても実践した。	23人	有
2	京都ブランド「SOU・SOE」コラボレーションプロジェクト	2019.04-07	若林株式会社京都マルイ	SOU・SOEの看板を冠して空想ブランドを生み上げ、弥生時代に生まれた貫刺衣をベースに三重県の伝統工芸品である伊勢木綿を使用した服の企画・デザイン・制作を行い、店頭で販売・接客までを行う。企画から販売までのプロセスを学んだ。	11名	有
3	糸および伝統文化の共同研究	2019年度後期	Burg芸術大学 (Burg Giebichenstein Kunsthochschule Halle University of Art and Design)	ドイツの私立大学 Burg Giebichenstein University of Art and Design Halle から正式に依頼を受け、共同研究・制作に取り組んだ。研究内容は、「糸」、「糸」の研究を深めることにより、糸の新しい用途の可能性を探る。糸は、織物文化だけでなく、古代よりジュエリーなどの装飾品にも用いられてきた。本研究では、金糸、銀糸などの糸長を形態変化させることによって用途を拡大させた金糸、銀糸を考察し、それを生かした新たな作品・製品の制作を行う。京都をフィールドに教育・研究を進める本学と、異なる文化芸術の社会背景を有する欧州の 視点を融合し、複層的な研究を行う。上記に加えて、糸や布とは関係の深い「織物」という行為が育む文化についても、研究・制作を行った。	14名	有
4	パブリックインデザインとしてのディスプレイ	毎年	IMDアーツ・インMMMOとのコラボレーション	商業空間における販促促進のための空間演出デザインを軸とし、ともに実践的プロジェクトとして、社会発信していくことを目的としている。大阪のラジオ放送局RADIO FM COOLLOのアートギャラリーである、IMDアーツ協力のもと、MAKAZAKI O REGIGITSにて展示販売を行った。中編町というエリアに足を運ぶ際、IMD ARTS主催「アートを身近に手に取ってもらおう」というコンセプトを念頭に、「Renewal your eyes」をテーマに掲げ、商品の企画、空間設計、販売に至るまで、人のモノやコトを描くまでを学ぶ授業であった。	25名	有

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	北九州港開港130周年記念事業	2019.9～2019.11	門司港美術工芸研究所	概要 *200-250字を目安としてください 北九州港開港130周年記念事業の一環として「海辺のアートギャラリー」と名付けたイベントを門司港美術工芸研究所開催。北九州市立大学、西日本工業大学、大分県立芸術短期大学とあわせ、4大学にて屋外アートをイベントにあわせて設置した。京都造形芸術大学からは「Friend Ship」という、舟型のアートベンチ、石台、アートサインを制作した。	7名	無
2	山口県長門湯本セルフリノベーション	2019.5～2019.9	総合資格学院	山口県長門市長門湯本の温泉地の再復興計画に参画しているLIXIL空間工房（長町志雄氏代表）からの声掛けで、その拠点施設となる「おとずれ堂」の古民家再生の提案とセルフリノベーションを小野せぐで部分的に担当した。その活動に対し協賛金として、総合資格学院より30万円が支給され、全て学生の交通費として使用されていた。事後、総合資格学院さんの会社にて、経緯と結果の報告会を行った。	16名	無

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	左京東山児童館学童保育所まつり	2019.5.18	京都市児童館学童連盟	概要 *200-250字を目安としてください 京都市児童館学童連盟の主催による、左京東山地区の児童館祭り。今年度は、「子どもの楽園 あそびの楽園」一日児童館 へあそびがいっぱい 自然もいっぱいをテーマに実施された。この祭りの工作ブースとして、コマづくりのワークショップを行った。	5名	無
2	女性のための健康DAY 京都きれいフェスタ	2020.1.18	一般財団法人京都工場保健会	2018年度「キレイフェスタ」に参加された理由の第4位は「キッズコーナーに興味がある」である。健康受診をされる家族のお子さんや祖父母の方が楽しみにされている。そこで、大人と子ども一緒に楽しめるワークショップと子ども芸術会をおこなった。	12名	無
3	修学院保育園こども作品展の共同制作	2019.10～2020.2	社会福祉法人若菜福祉会 修学院保育園	京都市左京区にある修学院保育園の作品展を観覧・観覧員、子ども芸術学科の学生（3回生）が協働で企画・制作した。10月から各年齢のクラスと造形活動を5～6回実践し、その成果を2月の子ども作品展で展示した。また、活動のプロセスを記録した冊子を作成し、保護者へ配布した。	30名	有

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	松竹芸能クラウドファンディング 送礼品デザインワーク	2019.06	松竹芸能株式会社	概要 *200-250字を目安としてください 松竹芸能運営の角座が移転となり新しく心斎橋角座としてオープンにあたりクラウドファンディングを実施。その際の送礼品各種のデザイン制作とクラウドファンディングに参加いただいた方（ひとくち支配人）の芳名板の製作を行った。	24名	無
2	アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン展覧会	2019.04～10	ANBD日本協会	東アジアの4都市で毎年アンデパンダンな国際デザイン展活動を実施する「アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン (ANBD)」。12年目を迎えた2019年度はソウル、台北、天津・日本。そしてその日本での開催地として京都造形芸術大学での実施依頼があり初の京都開催となった。300点を超える展示計画と国際シンポジウムの運営並びにレセプション等の計画遂行に關してサポートした。	18名	無
3	京都スマートシティエキスポ アイデアソン	2019.10	京都府 商工観光労働部（一社）京都スマートシティ推進協議会	京都府・京都スマートシティ推進協議会が実施している京都スマートシティエキスポ開催において、今まで京都の大学並びに学生の参加がなく幅広い市民の参加を求める京都府からの依頼。京都府が運営しているパブリックデジタルサイネージの活用をテーマとし、2・3回生34名の参加でアイデアソンを実施し、7チームから活用アイデアをプロトタイプの実験と共に主催者へのプレゼンテーションを行った。	34名	無
4	JapanEXPO 2019 京都市POPカルチャースタンプ出展	2019.07	京都市 産業観光課	京都市産業観光課より京都市を紹介するブースにおいて、京都の大学として参加依頼を受ける。キャラクターデザイン学科のJapanexpo出展に賛同していた学生による展開板デモンストレーション。大学校として紹介パンフなどの配布も同時に行った。	10名	無



4- (1) -① 産学公連携本部						
5	大阪市立大学医学部付属病院内連携研究	2019.09-2020.02	大阪市立大学医学部付属病院	年間2万件発生すると言われる医療事故の原因は、医療関係者間のコミュニケーション不足によるものである。これらを解消するため、目上の者にもしっかりと意思を伝え、また目上の者は自らの経験による思い込みを捨ててフラットな気持ちで他者の意見を耳を傾ける必要がある。それは強制やマニュアルではなくメディアアートの力によって自然に身に着くものである。との考えから、3年計画3年目の今回はゲームの形を用いて実験を試みた。	26名	無

マンガ学科						
No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	男児・女児向け玩具説明漫画化プロジェクト	2019.5-2019.10	株式会社CCP	概要 *200-250字を目安としてください バンダイ子会社ですデジタル玩具製造販売をしている、株式会社CCPから商品の魅力を伝えるために、4コマ漫画を描いて伝えて欲しい。商品はあるので、どう伝えるべきかわからないターゲットに近い学生の企画・アイデア力が欲しい。と依頼があった。約40名の参加者から3名を選出して取り組んだ。	40名参加者から2名選出	有
2	不動産マンガ	2019.10-2019.12	(株) JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント	今回は不動産売買のハウスドゥさんで購入するお客さんを対象とした説明のためのマンガ制作	10名参加者から1名選出	有

歴史遺産学科						
No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	奈良県立民俗博物館所蔵資料の調査と保存修復	2019.04-2020.03	奈良県	概要 *200-250字を目安としてください 奈良県立民俗博物館から所蔵資料の調査と保存修復について協力依頼があった。そこで同館との協定を締結し、歴史遺産学科の演習授業の一部として今年度は、9点の保存修復を行った。成果は大学の学生作品展で展示を行った。	8名	有
2	和中断崖の調査と保存活用	2019.04-2020.03	京都ノートルダム女学院中学・高等学校	京都ノートルダム女学院中学・高等学校より、敷地内の近代住宅「和中断」の保存・活用について協力依頼があった。そこで、歴史遺産学科の演習授業の一部として、2018年度より和中断崖の考古学的実習を行った。	1年生 1名 2年生 10名 3年生 14名	有

美術工芸学科						
No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	花かごのおとしを提案	2019.10~2020.1	公長書小菅	概要 *200-250字を目安としてください 竹を素材に様々な商品を展開する公長書小菅。なかでも花かごは最大規模にしたいアイテムの一つとされている。公長書小菅の創作理念の一つは「古典と現代の融合」。そんなものづくりの姿勢や、企業努力をリサーチし、新たな商品の提案。そして、採用を目指す。今回の構想は、おとし。おとしとは、竹かごの中に花を生けるために置く花入れ（通称は竹筒）のことである。会社に出向き、様々な花かごを見学し、そこで選んだ花かごのおとしを構想し、副社長の小菅達之さんにプレゼンテーションした。総合造形コースで学ぶ学生ならではの発想で提案を実施。	20	有
2	京都造形芸術大学×SOU・SOU×京都マルイ	2018.04-07	京都マルイ	つくり、展示し、販売するという一連の経験を経験することを目的とした。手ぬぐいデザインを考える、会場のレイアウト、販売促進、経理、連絡、プレス対応、モノが出来上がるまでの「コスト」を正確に把握するなど、たくさんの仕事をこなす。ともすれば「つくること」=切羽にたがらぬ最大の授業のなかで、ものづくりの周辺には多くの仕事があり、その仕組みのなかでモノは動いていることを知る。	16	有
3	INAXライヴミュージアム イベントプログラムの企画・運営	2019.8.17,18	INAXライヴミュージアム	INAXライヴミュージアムは、どろんこ館をはじめ、「土」「火」「水」といった自然素材との触れ合いを子供たちや親に対して、積極的な関わりを提案しているミュージアムである。2019年度は本学美術工芸学科が組織的連携を進め8年目となった。美術工芸学科総合造形、計画コースの教員と学生がイベントプログラムの企画・運営に携わり、イベント開催準備中は、現地でのワークショップを行った。INAXライヴミュージアム併設の、夏の人気スポットとして併せて行っている。	9名	無
4	ARTCOM2019	2019.07	京都府精華町けいはんな記念公園	地域文化と芸術の社会還元を行うにあたり、京都府文化学研究会における水島園での野外彫刻展ARTCOM2018の展覧会を実施。広く科学技術研究都市の文化市場と芸術との連携を深め、あらゆる展望を模索している1999年から4回大会開催委員会がスタートし、現在まで形態を変えながら、次々かつ毎年開催が続いている。立体的な魅力を野外で鑑賞していただき、自然との共生をももめることは一般の方には広く親しまれたイベントになった。	25名	有
5	AwaJi Art Circus2019	2019.9~10	パソナグループAwaJiArtCircus)実行委員会事務局	浜路島鑑賞とアート祭典による国際アートパフォーマンスフェスティバル。今年度で5回目を数える。浜路島から日本の魅力を世界発信し、地域資源を活用しながら、地域活性化に繋がる交流で人口の増加や消費誘発を目指すことを目標に、文化発信を目標し、世界の様々なジャンルのアートに触れる。鑑賞としてのアートを取り取りたい要望が企画として持ち込まれ、野外展示作品の提供が依頼される。ターゲットはわかりやすくアートを楽しむ人をメインに学生作品の展示にあたった。	1名	無

アートプロデュース学科						
No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	豊中市文化芸術センター 拡張するスコープexsco	2020.1.19(2020.9~展覧会までは授業内で企画を進める)	豊中市文化芸術センター(指定管理者株式会社JTBコミュニケーションデザイン)	概要 *200-250字を目安としてください 2020年1月19日(日)、豊中市立文化芸術センター 展示室を会場に行われた企画。音楽事業を軸に活動を行う同館から音楽と美術を架橋するよう新しいイベントを考案して欲しいという依頼を受け、「拡張された楽譜: Expanded Score」というキーワードを概念として、一日だけのパフォーマンス形式の展覧会を企画・実施した。出演・出演作家は八木良太、正広、安野竹/安野太郎。特別出演者としてフレックスのメンバーである塩見光枝。また「ESXCOリサーチ」として本学科の学生も出演・出演を行った。	12名	有
2	共生の芸術祭 DOOR&S+	2020.2.20~3.2.(2020.9~展覧会までは授業内で企画を進める)	共催:きょうと障害者文化芸術推進機構	2020年2月20日から3月2日にかけてギャレリ・オープを会場に開催。きょうと障害者文化芸術推進機構からの依頼のもと、前年11月に京都府立京都大学 彦根館にて開催された「DOOR&S」を再解釈して提示した。鑑賞し者の「福祉」や「労働」を概念的「ダブルス」という観点から提示しようという11月の展示を踏まえ、本展ではアートプロデュース学科の学生が、日常的な様々な物語を「ダブルス」という観点から新たに作品を加え展示を行うことで、「ダブルス」というコンセプトをより普遍へと拡張して提示した。	12名	有

日本庭園・歴史遺産研究センター(歴史遺産研究部門)						
No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	国立民族学博物館「標本資料の保存管理手法の研究」	2019.5.29~2020.1.31	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館	概要 国立民族学博物館所蔵の標本資料について、館から支給されるマニュアルに基づいて資料の材質・状態調査を行い、資料の破損・劣化箇所等を「点検情報基本カード」に記録し、保存科学研究の基礎データを作成する。	学生関与(人数) 有 (院生2名/学部16名)	無
2	浮世絵保全施設	2019.2~	京都造形芸術大学芸術館	浮世絵専攻 芸術館所蔵の浮世絵保全施設作業。	有 (学部2名)	無
3	「学校収蔵民具の再発見事業」普及啓発事業	2019.4.10~2020.3.31	学校収蔵民具の再発見事業実行委員会	パネル展「学校収蔵民具の紹介展」におけるパネル制作・展示準備作業補助	有 (学部1名)	無
4	真田山田藩軍墓地の墓石に関する調査および強化処理	2019.4.1~2020.3.31	公益財団法人真田山田藩軍墓地維持会	真田山田藩軍墓地における墓石の強化状態調査結果に基づくベドランク墓石の強化処理の研究を行った。	有 (学部1名)	無
5	田川市 鶴見坂・ブループラックインク変色メカニズムおよび処置方法検討のための共同研究	2019.4.1~2020.3.31	田川市	変色現場資料およびブループラックインクに対する処置方法を、共同で行った。	有 (学部1名)	無
6	湯浅町内湯浅醸造所遺跡民俗資料調査業務	2019.4.22~2020.3.28	和歌山県湯浅町	前年度の成果を踏まえ、調査者手済み資料(田橋原石蔵資料)の整理および調査。その他の湯浅町内に所在する醸造醸造関連民俗資料の調査の実施。および今後湯浅町内に所在する民俗資料の調査に資する所見の作成。	無	無
7	滋賀県立琵琶湖博物館 民具資料の維持管理	2019.10.31~2020.3.27	滋賀県立琵琶湖博物館	滋賀県立琵琶湖博物館の民俗収蔵庫2に収蔵している民具資料のうち、22点の資料について、令和2年(2020年)にオープンする新展示に使用するため、補修・補強等の作業を実施した。	有 (院生2名)	無
8	トナリ靴のデータ整理およびP-Web作成	2019.6.12~2020.3.31	京都国立博物館	京都国立博物館所蔵のガラス靴展のデータ整理およびP-Web作成を行った。	有 (院生1名)	無

日本庭園・歴史遺産研究センター(日本庭園部門)						
No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	史跡宇治川太閤堤防石積み護岸・石出し遺構再発掘調査及び工事監理委託業務	2018.12.12-2019.8.16	宇治市	史跡宇治川太閤堤防は京都盆地東部に流れる宇治川の右岸に16世紀に豊臣秀吉によって築造された護岸と水制である。平成19年度以降の発掘調査によって得られた史跡宇治川太閤堤防の護岸遺構情報に基づき、保護した遺構の同位置上部に護岸遺構の一部の再発掘調査を行うとともに、工事の監理業務一式を委託された。また、並行して実施しているパネル再発掘工事の一連の工事に併しても助言指導を行うよう委託された。	30名 (卒業生含)	無
2	高雄町裁判所跡地整備事業監修	2019.3.28-2020.3.19	奈良県	奈良市に所在する高雄町裁判所跡地は浮世堂や霊地と一体となった良好な景観資源が評価され、昭和62年に名勝奈良公園に追加指定された。大正期に作庭された庭園が良好に現存しており、日本を代表する文化人が集った場を通じて交流を促した場であることなど価値評価がなされている。庭園を復元し、その価値を維持・利活用するため、専門分野の機関として助言、指導、工事監理を行うよう委託された。	3名 (卒業生含)	無
3	平成31年度 宇治市名勝総合調査「宇治の名勝地」現状調査研究委託業務	2019.4.26-2020.3.6	宇治市	宇治市における名勝候補地について、所在、現状基礎ならびに文献資料等を把握し、現地調査を行ったうえで資料の精査とりまとめを委託された。また、松殿山荘の現状把握を進める上で昨年行った調査資料の検討整理を行い、補正調査を行い、一定の取りまとめを行うことを委託された。	2名 (卒業生含)	無
4	史跡及び名勝平等院庭園保存修理工事および現場監理業務	2019.4.25-2020.3.31	宗教学院 平等院	史跡及び名勝平等院庭園は園内から多くの実業家が掘れた宇治市内の周辺地帯としてみなされてきた歴史的庭園文化財である。公園を維持するにあたり、庭園の周辺地域の不燃物による行脚の阻害等の劣化を生じざるを要する取組があったうえで、本来の庭園形式を再現し、拝観者に平安朝の土蔵の敷し等の提供を続け、文化財および様式美の維持をはかることを目的に、本事業では庭園周辺の修理工事を実施する。業務の内訳は、事業推進に必要な調査の実施と助言指導、設計監理、工事監理等である。	30名 (卒業生含)	無
5	彦根城博物館内庭園修景整備委託業務	2019.6.1-2020.3.31	彦根市教育委員会	滋賀県彦根市に所在する彦根城博物館(表御殿)の庭園は発掘調査と古絵図を基に復元した庭園があり、彦根を代表する大名庭園である。この庭園の修景と適切な維持管理を図るため、主要樹木の剪定等および博物館作業員への技術指導を行うことを委託された。	1名 (卒業生)	無
6	令和元年名勝玄宮堂・園藝秋整備委託業務	2019.6.21-2020.3.27	彦根市	滋賀県彦根市に所在する国宝彦根城の下園藝であり、名勝に指定されている玄宮堂・園において、補修に特化した修復作業を委託されたものである。国宝ならびに名勝にふさわしい景観を維持するため、主に和の剪定を実施することを委託された。	3名 (卒業生)	無
7	和元年名勝庭園管理アドバイザー委託業務	2019.7.2-2020.3.27	彦根市	滋賀県彦根市に所在する国宝彦根城及び下園藝の名勝玄宮堂・園において管理作業に従事する常設作業員に対し、文化財に携わる心得、管理技術を指導するとともに、補修においては剪定技術講習を実施することを委託された。	2名 (卒業生)	無

4- (1) -② 産学公連携本部						
8	名勝柴田氏庭園維持整備指導委託	2019.4.23-2020.3.19	敦賀市	福井県敦賀市に所在する豪農の屋敷であった柴田家の名勝柴田氏庭園において、名勝庭園本来の姿・魅力を取り戻すための整備を行なうにあたり、必要な設計を行うとともに、専門的見地からの指導及び助言を行い、保全整備委員会の運営を支援することを委託された。	2名 (卒業生)	無

9	令和元年正壽院保存整備事業における庭園設計監理業務	2019.3.1-2020.3.27	京都伝統建築技術協会・堂計画室 特定委託業務共同企業体	鳥取県東伯耆三朝町に所在する名勝及び史跡三徳山の三徳寺の三院のひとつである正壽院の名勝正壽院庭園整備事業において、設置されている専門委員会への出席と、資料提供を委託された。	2名 (卒業生)	無
10	名勝会津若松氏庭園池畔岸修復及び移資記録作成業務委託	2019.9.9-2020.3.19	会津若松市	福島県会津若松市に所在する名勝御薬園において、平成28-29年度に実施した西池畔岸及び御茶屋御薬園側の試掘調査結果に基づき、西池畔岸の修復とその記録、ならびに修復後の地形記録を実施することを委託された。	2名 (卒業生)	無
11	田安川庭園実地設計に伴う指導等委託業務	2019.4.1-2020.3.27	株式会社セプト設計コンサルタント	北九州市に所在する安川電機創設者の邸敷であった安川家の田安川邸の建物周辺に展開する庭園の復元的整備、改修整備等に係る助言指導を行うことを委託された。また、助言を行う際、適宜追加調査を行い、事業推進に必要な検討事項が生じた場合等、適宜助言指導を行うよう委託された。	2名 (卒業生)	無
12	崇徳寺跡御松軒損傷状況調査業務委託(庭園)業務	2019.7.24-2019.9.30	一般財団法人京都伝統建築技術協会	熊本県熊本市に所在する銀川藩の普門寺である崇徳寺跡敷地内には茶室御松軒と庭園が築造されている。茶室ならびに庭園は各部に経年的な損傷が目立つようになってきた状況から、建物と庭園の損傷調査を実施した。センターは庭園調査を委託された。調査結果は現況調査状況を整理して改修案を検討し、所見を作成して提出した。	2名 (卒業生)	無
13	堺市跡地跡地庭園調査等	2019.4.1-2020.3.27	株式会社KOGA建築設計室	大阪府堺市に所在する新地跡地において、堺市から整備活用計画策定業務を委託された株式会社KOGA建築設計室より、庭園の現況調査ならびに活用整備計画のための整備計画図書一式の作成を依頼された。	3名 (卒業生)	無
14	芳春院の庭の実地調査	2019.10.4-2020.3.31	京都府	京都市内に所在する名勝を京都市文化財保護条例に基づく指定等の候補地として、審議会に諮問するための基礎となる資料を作成するとともに、本年度以降の候補地の選出実施を委託された。	2名 (卒業生)	無
15	令和元年名勝玄宮家・園保存活用計画策定委託業務	2019.10.4-2020.3.27	彦根市	名勝玄宮家・園は、昭和26年6月9日に国名勝の指定を受け、同時に国史跡としても指定を受けている。また、平成26年10月6日には本家庭園の範囲であった坂本園蔵瓦駐車場や公有水面等の隣接地が追加指定を受けている。本業務では、この名勝玄宮家・園の遺構や景観の適切な保存と活用方法を示し、後世に伝えていくための基本的な計画である「名勝玄宮家・園保存活用計画原案」を策定することを目的とした。	2名 (卒業生)	無
16	日本万国博覧会記念公園日本庭園植栽等景観創出業務	2019.10.1-2020.3.31	阪神造園建設業協同組合	大阪府から受託した「日本万国博覧会記念公園日本庭園植栽等景観創出業務」に基づき、日本万国博覧会記念公園日本庭園において年2回の修景委管理方法を指導することを委託された。	3名 (卒業生)	無
17	日本万国博覧会記念公園日本庭園における庭園景観創出管理技術の公開講習会	2019.10.1-2020.3.31	阪神造園建設業協同組合	日本万国博覧会記念公園構想策定「日本万国博覧会記念公園 日本庭園改修基本計画平成19年度」に基づき、日本万国博覧会記念公園日本庭園に設定されているゾーン毎の修景管理を、年間2回の講習会の講師として参加して指導を実施することを委託された。	-	無
18	令和元年玄宮園護岸保存整備工事工事監理委託業務	2019.12.12-2020.03.23	彦根市長	滋賀県彦根市に所在する国宝彦根城内、名勝玄宮家・園において保存整備事業として着工される園池護岸保存整備工事(第3工区・護岸延長16.6m、乱杭延長35.2m等)において工事監理を委託された。	2名 (卒業生)	無
19	令和元年度 特別史跡彦根城跡指定委託業務	2020.02.17-2020.03.27	彦根市長	滋賀県彦根市に所在する特別史跡彦根城跡において、彦根城の空間を構成する主要な植栽の松を対象に、修復剪定を実施した。彦根城の下屋敷名勝玄宮家・園の植栽整備の名勝としての整備技術を彦根城全体でも良好な姿を保ち景観を維持するため、松の剪定を委託されたものである。	2名 (卒業生)	無